

碑文谷公園における新たな公民連携の一時休止について

1)これまでの経過

目黒区では、碑文谷公園の魅力アップと財政負担の軽減を目的に、新たな公民連携の取り組みを検討してきました。

令和5年度には碑文谷公園をPark-PFI導入候補公園として選出し、トライアルサウンディング(事業者による実証実験)を実施しました。

令和6年度にはオープンハウス型意見交換会を開催し、ボート場を施設導入エリアとしました。またボート場のより良い活用方法についての意見交換会を行い、「夏や冬、雨でも休憩できるスペースが欲しい」「子どものための事業をしてほしい」といった意見を踏まえた事業として、区では、ボート小屋の建て替えと同時に新たな機能の付加を検討してきました。しかし検討した内容について「憩いの場としての碑文谷公園が失われてしまうのではないか」という不安の声や「自然の中で子どもと遊ぶのが碑文谷公園の良さなので違和感がある」「採算がとれるのか」等のご意見を頂きました。

このニュースレターはこちらからもご覧いただけます→
(11/20公開予定)



R5. 4	地域(町会、住区、公園活動登録団体等)へ進め方の説明
R5. 11	碑文谷公園での実証実験(物販、キッチンカー、屋外映画上映等)
R5. 11	碑文谷公園を話し合う会で意見交換
R6. 3	碑文谷公園を話し合う会 鷹番住区住民会議役員会で意見交換
R6. 6	オープンハウス型意見交換会
R6. 10	地域との懇談
R6. 11	碑文谷公園を話し合う会で意見交換
R6. 12	地域との懇談
R7. 3	ボート場の活用に関する意見交換会
R7. 8	地域との懇談



意見交換会の様子



ボート場の様子

2)今後の取組

これまでの経過を踏まえ、**碑文谷公園における新たな公民連携による魅力向上の取組推進は一時休止**し、今後、他公園での民間活力による施設改修や効率的な管理運営等、公民連携による公園の魅力向上の可能性について、Park-PFI以外の手法も含め検討していきます。

これまで、皆様からたくさんの貴重なご意見、アイデアを頂き、ありがとうございました。